

九州で3河川が「水質が最も良好な河川」となりました ～川辺川・五ヶ瀬川・小丸川～

九州地方整備局では、一級河川（直轄管理区間）において、水質調査を実施しています。この度2023年（令和5年）（1月～12月）の九州地方一級河川20水系における水質現況をとりまとめましたのでお知らせします。主な内容は以下のとおりです。

◆九州で3河川が「水質が最も良好な河川」となりました。

- ・球磨川水系川辺川、五ヶ瀬川水系五ヶ瀬川、小丸川水系小丸川、の3河川が、「水質が最も良好な河川^{注1}」となりました。
- ・川辺川は2006年（平成18年）から18年連続、五ヶ瀬川が11年連続、小丸川は2020年（令和2年）から3年ぶりに「水質が最も良好な河川」となります。

注1：対象河川のうち、以下の両方の基準を満たす河川。

○対象河川各調査地点のBOD年平均值について、全調査地点で平均をとった値が0.5 mg/L^{※1}

○対象河川各調査地点のBOD75%値^{※2}について、全調査地点で平均をとった値が0.5 mg/L

※1：環境省の定めるBOD（生物化学的酸素要求量）の報告下限値（0.5 mg/L）

※2：測定データを値が小さい（水質が良好）方から並べ、0.75×データ数番目（整数でない場合は切り上げ）の値（例えば、BODを毎月1回測定していた場合、水質の良い方（値の小さい方）から数えて0.75×12＝9番目）

<対象河川>

- ・一級河川（本川）：直轄管理区間に調査地点が2以上ある河川
- ・一級河川（支川）：直轄管理区間延長が概ね10km以上、かつ直轄管理区間に調査地点が2以上ある河川

※湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。



18年連続で「水質が最も良好な河川」
となった球磨川水系川辺川



11年連続で「水質が最も良好な河川」
となった五ヶ瀬川水系五ヶ瀬川



3年ぶりに「水質が最も良好な河川」
となった小丸川水系小丸川

《 問い合わせ先 》

国土交通省 九州地方整備局 河川部 河川環境課

TEL：092-476-3525（直通）

河川環境課長 原田 佐良子 内線3651

建設専門官 古川 貴博 内線3656

詳細については下記よりホームページをご覧ください。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kawa/environment/suishitsu/genkyou/index.html>